

# 令和6年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)  
Happy+Natural  
Happy+challenge

(保育目標)  
げんきな子 やさしい子  
がんばる子 ゆたかな子

A : よくできている  
B : わりとできている  
C : 一部改善が必要  
D : 改善しなければならない

	内容	前年評価	今年評価	現状・課題
保育目標に	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	B	・頭ではわかっていても実際に保育を進める中で理念や主体性に添っているか…と悩む姿も見られるため、その都度一緒に考えている。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている	B	B	・子どもとの相性もあるが一人ひとりと向き合おうとする姿がある。
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	B	B	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	A	・1歳児に関しては気になる児童が多く園と家庭での様子をしっかり把握し、保健師等のアドバイスを受けながら必要な機関へと繋げることができた。今後も連携を取りながら見守っていきたい。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	B	A	・園児についての悩みや保育環境について職員間で相談する姿はよく見かける。アドバイスをもらうことで自分にはない発想やアイデアの発見に繋がっていると思う。
	(3)素材・用具を適切に使用している	B	B	・共有物の整理整頓については子どもにも指導するため職員もそれぞれが意識してほしいと感じた。
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	B	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	C	C	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	B	B	・年齢に関係なく年間を通してたくさんのクッキングを楽しむことができていた。また、食育活動での協力者へクッキングでおもてなしを行い感謝の気持ちを伝えた。栄養士との連携もしっかりできていた。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	A	A	・小麦アレルギーへの除去が加わり問診を密にし栄養士、保育者ともにしっかりと対応できた。
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	A	
役員研修構成	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	B	B	・それぞれの立場で責任の度合いに違いがあるため、見極めが難しい。リーダーと名がつくとそれだけで責任が重く感じてしまうので、そうではないことを伝えていきたい。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	C	B	・大きな地震があり危機管理意識が高まったと思うが時間がたつと薄れていまうので定期的に話をていきたい。
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	B	

		前年評価	今年評価	現状・課題
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	B	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対応についての相談が数件あった。人によっては受け止め方が違うので子どもの様子などを伝えるときには保護者の気持ちに寄り添った言葉選びをすること、伝えるタイミングや時期を考えるよう個人指導を行った。</li> <li>・全職員に対しても「気になる子の保護者対応」について講師を招き研修を行い今後に生かせるアドバイスをもらった。</li> <li>・次年度の課題として、職員と意見を出し合い改善に努めたい。</li> </ul>
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	C	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	A	A	
	(4)園だより、ドキュメンテーション、きっずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	B	B	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	A	
開かれた園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を持つ	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣小学校との交流を持つことができた。就学する学校とは書類、電話等で引継ぎができる。</li> <li>・1歳児に関しては気になる児童が多く園と家庭での様子をしっかりと把握し、保健師等のアドバイスを受けながら必要な機関へと繋げることができた。今後も連携を取りながら見守っていきたい。</li> </ul>
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	B	B	
子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時だけではゆっくり話せない保護者に対しては個別で時間を作り、家庭での困り感や悩みを共有することができた。</li> <li>・地域への発信として何ができるのかを考えていきたい。</li> </ul>
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	B	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	C	C	

## 総合的な現状と課題

・今年度は保護者アンケートのご意見にもあったが、保護者対応についての相談(直接園長へ)が多くあった。内容は職員の対応時の表情や言葉の伝え方について。職員からすると子どもの事をもっと把握するために話をしたり、大事な事だから真剣に伝えたなど悪気ない思いがあつたが、保護者にとって受けとめ方が違っていたりマイナスの言葉や表情ばかりが印象深ってしまい相談へとつながったのだと思う。人の話し方や感情が顔に出てしまうことはすぐに変わるものではないと思うが、自分の感情や自分軸での発言は避け、クラス間で話し合ったうえで伝えたり幹部に相談するよう個人指導をした。また、保護者対応、子どもの姿の伝え方、言葉の選び方については職員全体にも研修を含め指導を行った。次年度の課題とし、園の方向性にも落とし込み専門職としての倫理観を高め、日々の保育の質の向上へと繋げていきたい。

・園の行事についてはその都度反省点や課題が上がっていたので、改善できるところから次年度に活かしていきたい。また、子ども達の成長を感じられる機会があるので、どう保護者に伝えていくかなど工夫していきたい。

・何事も職員の日々の努力と頑張りがあるからこそなので、節目には感謝の気持ちを伝えてきた。今後もコミュニケーションを取りながら仕事へのモチベーションや意欲へと繋げていきたい。